

通告4番目、6番、田畑昭二議員、発言席から総括方式で質問願います。

田畑昭二議員。

○田畑議員 6番、田畑昭二です。議長の許可を得ましたので、さきの通告に従いまして、総括方式で3点質問いたします。

まず1点目は、先ほど同僚議員から質問がありましたけれども、保育所待機児童について、まず質問をさせていただきます。

最近、ゼロ歳児から2歳児の保育施設が満杯で、入所待ちの親御さんからの相談が多く、市としての対応について、以下の3点について質問いたします。

まず1点目は、当市における現在の待機児童の状況はどうなっているのか。

2点目は、明年度及び今後の待機児童の見通しはどう見ているのか。

3点目に、その対策はどのように考えているかをお尋ねいたします。

次に、当市における人口減少についてお尋ねいたします。

今まで、当市は微増ではありますが、減少はなかったと思いますが、近年、減少へと転じているようです。過去3年間の人口推移はどうなっているのか。

また、人口減少の対策は何か考えているのか。

人口減少による影響はどういったものがあるのか、お答え願いたいと思います。

3番目に、広域農道でのイノシシ事故についてであります。

本年11月初旬、夜間に大阪方面から帰宅途中の住民が、広域農道の歴史資料館から300メートルほど東寄りのところで、オートバイとイノシシの衝突事故があり、住民は鎖骨を折り、オートバイは大破したそうです。ちょうど街灯のないところで、真っ暗なため、一瞬が何が起こったかわからなかったそうです。警察が来て、オートバイにイノシシの毛が付着していたので、イノシシの追突とわかったそうであります。もし後続車があれば大惨事となっていたと思うと、ぞっとしたそうです。

そこで質問ですが、イノシシ対策として、市は猟友会の方々にお願いし、かなりの数の駆除もされておりますが、今回の事故のようなことも今後考えられます。せめて、墓地、公園、交差点は大きな街灯がつけられておりますけれども、その交差点までの広域農道の真っ暗なところは、防犯灯か街灯をつけていただけないのか質問いたします。

以上3点、よろしく願います。

○吉本議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 まず、田畑議員の2番目の人口減少についてのお答えからさせていただきます。

きます。

本市は和歌山市に隣接し、大阪府側から和歌山県に至る玄関口として位置しており、これまで道路、下水道の都市基盤整備、社会保障や教育環境の充実に取り組んで、全国的に人口減少が問題となる現在においても人口を維持してきました。しかしながら、働き手の主力となる生産年齢人口の割合は低下の傾向にあり、高齢人口の割合が上昇傾向を続けており、長期的に立てば、人口減少の局面に転じることは避けられないものと言えます。

このため本市が目指すべき人口の未来像を示した岩出市人口ビジョンを踏まえ、長期的な重要課題である人口減少の歯どめに向けた実効性のある地方創生の取り組みを進めていくため、岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しております。

当市としましては、これまで積み重ねてきたまちづくりをさらに発展させ、人口減少時代に対応した魅力ある岩出市づくりを基本目標に、「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現のため、総合戦略における基本目標を人が集う魅力あるまち、子育てしやすいまち、安全・安心で住環境のよいまち、産業振興による活力あるまちと定め、さまざまな施策に取り組んでおります。

このような中、当市では平成29年度を地方創生・岩出市創生幕あけの年と位置づけ、交流人口の増加を図る最も有効な手段として、道の駅ねごろ歴史の丘を活用しながら観光振興に取り組むとともに、特に人口対策につながる事業を重点かつ優先的に実施する事業と位置づけ、魅力あるまちづくりに取り組んでいるところでございます。

なお、詳細については市長公室長から答弁させます。

○吉本議長 市長公室長。

○久嶋市長公室長 田畑議員ご質問の当市における人口減少について、一括してお答えいたします。

過去3年間の人口推移についてであります。住民基本台帳人口では、平成27年度末総人口5万3,694人、平成28年度末総人口5万3,944人、平成29年度末総人口5万3,827人、平成30年11月末総人口5万3,881人となっております。

次に、人口減少による影響はについてであります。労働力など地域の担い手不足や消費の減少などによって地域経済を脅かし、税収や交付税などの歳入の減少による市財政の影響も危惧されるほか、社会保障費の増加や地域コミュニティの維持にも支障を来すなど、地域の活力の低下が懸念されます。

そういった状況を十分認識しながら、岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略に

掲げた目標を着実に実行し、持続可能な財政運営ができるよう心がけてまいります。

次に、人口減少の対策は何か考えているのかについてであります。先ほど市長の答弁でもありましたが、4つの基本目標を定めております。その具体的な施策としては、人が集う魅力あるまちでは、便利さ、暮らしやすさの追求、観光の振興、ふるさと意識の向上、快適な生活環境の維持、自然との共生、文化・芸術・スポーツに親しむ環境づくり、子育てしやすいまちでは、男女の出合いの場の創出、妊娠、出産への支援体制の強化、子育て家庭を支える環境づくり、健全な子供を育む教育の充実、子供たちの最善の利益を支える環境づくり、安全・安心で住環境のよいまちでは、災害に強いまちづくりの推進、防犯体制の強化、交通安全施設の整備、地域医療体制の整備、健康づくりの推進、介護・介護予防サービスの充実、産業振興による活力あるまちでは、多様な企業の集積、地元企業への活性化・育成・支援、観光分野における雇用の創出、農業の振興、子育て女性等への就業支援等、各課が横断的に人口減少対策に取り組んでおり、それらを着実に達成していくことで、人口減少の抑制につなげております。

特に少子化の原因として、離婚化や晩婚化、晩産化が上げられますが、現在、当市では男女の出合いの場の提供や不妊治療等の助成を行っているほか、安心して出産・子育てができるよう子育て環境の整備等、充実に努めているところであります。

また、当市への進出を希望する企業や地元企業の活性化に積極的に支援することにより、雇用拡大にも努めているところであります。

今後も市の将来都市像である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向けさまざまな事業に取り組んでまいりますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

○吉本議長 生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 田畑議員ご質問の1番目の1点目、保育所待機児童ですが、12月1日現在、ゼロ歳児、15名、1歳児、14名、2歳児、8名、年少児、2名、計39名の待機児童が発生しております。

2点目、来年度及び今後の見通しについてでございますが、先ほど市来議員のご質問に回答させていただきましたとおり、現在、平成31年度の一次募集が終了し、各施設の定員設定及び申込者の利用調整を行っているところです。継続、新規を合わせた申込者数は昨年度より増加しており、特に1歳児及び2歳児について厳しい状況となっております。

3点目、待機児童対策についてですが、公立・私立保育所、私立認定こども園の

定員拡充の調整、利用者ニーズに沿った私立幼稚園の活用、私立幼稚園に対し、国が推奨する幼保連携型認定こども園への移行推進、企業主導型保育事業の活用、一時預かり事業及びファミリーサポートセンター事業の活用等を実施し、できるだけ待機児童を発生させないよう取り組んでいきたいと考えております。

○吉本議長 事業部長。

○田村事業部長 田畑議員ご質問、広域農道でのイノシシ事故についてお答えいたします。

道路管理者が設置する道路照明灯は、歩行者及び自転車等の夜間交通の安全の確保及び防犯を目的として、2車線以上及び歩道付きの市道で、交通量及び住宅密集度等を考慮して設置しております。

市では、現在、幹線道路である市道山西国分線や市道安上中島線等において、歩道設置区間を重点的に道路照明灯を設置しております。

議員ご質問の広域農道、道の駅ねごろ歴史の丘から根来公園墓地入り口交差点までの区間につきましては、イノシシ対策ではなく、観光振興の観点から、歩行者等の安全確保のため、今後、電柱強化を基本とした設置を検討してまいります。紀の川市境までの区間につきましては、歩行者及び自転車等の夜間通行が少ないことから、現在のところ、設置の計画はございません。

○吉本議長 再質問を許します。

田畑昭二議員。

○田畑議員 まず1点目の保育所待機児童についてであります。結構相談の電話も多く困っているんですけども、現在待機されているご家庭の皆さんは、どのようにさまざまな形で対応されているのでしょうか。無認可託児所等を利用されているとか、いろいろあるんでしょうけれども、市として掌握されている範囲で結構ですので、お答え願いたいと思います。

2点目の人口減少について、詳細を答えていただきました。その中で、総合戦略の基本目標に基づき、人口減少対策に取り組んでいるということで答弁をいただきましたけれども、かなりさまざまな観点からの対策でありますけど、その効果はどのような形で出ているのか、お答え願いたいと思います。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 田畑議員の再質問にお答えをいたします。

入所できなかった児童は、今どう対処しているかを把握しているかというところ

でございますが、子供を入所させることができなかった場合、無認可の保育施設へ預けておられる方あるいは育児休業を延長して家庭で保育を続けられる方、それから親族等に児童の保育を依頼しておられる方、それから職場の託児施設に預けられる方、あるいは一時預かり事業、ファミリーサポートセンター事業を利用されている方がいらっしゃるというふうに把握をしております。

以上です。

○吉本議長 市長公室長。

○久嶋市長公室長 田畑議員の再質問にお答えいたします。

岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施においては、基本目標、基本的方向性、具体的な施策に分類し、各施策の効果や成果を総合的に検証するための重要業績評価指標、K P I というんですが、を設定し、本市におけるまち・ひと・しごと創生を実現するため、施策効果やK P I について検証を行うことになっております。

また、事業結果については、各担当課において、P D C A サイクルに基づき検証を行い、社会経済の情勢や市民ニーズへの対応を図りながら、課題分析・改善に努めております。

効果・検証につきましては、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア及び住民の代表で構成する岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会において、4つの基本目標をもとに実施しており、それぞれ有効であったとの評価をいただいております。

以上です。

○吉本議長 再々質問を許します。

(な し)

○吉本議長 以上で、田畑昭二議員の一般質問を終わります。